ボーリング柱状図

調査名	災害関連緊急砂防事業に伴う測量・設計業務委託(小坪西川)
事業・工事名	
ボーリングNo	
シートNo	

ボーリング名	No.4(前堤部)	調査位置	呉市広小坪 地内 小坪西川地区	北緯	34° 12'37.7"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	平成 31年 3月 21日 ～ 31年 3月 日	東経	132° 38'12.9"
調査業者名		主任技師	現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	43.81m	角度	180°上 90° 0°下	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南
総掘進長	8.00m	地盤勾配	鉛直 90° 水平0° 5°	使用機種	試錐機: 東邦製 D-0 / エンジン: ヤンマーNFAD13 / ポンプ: 東邦製 BG-3B

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
1	42.21	1.60		礫混じり砂質粘土	茶褐						粘土～細砂主体。粘性有。腐植物点在。含水中位。粘土は不均質であるが全体に均質な盛土の様相。細礫点在。
2	41.71	2.10		礫混じり粘土質砂	暗黄褐						粘土～粗砂主体。粘性有。腐植物点在。2cm大の角礫点在。含水中位。全体に不均質で盛土の様相。
3	40.11	3.70		礫混じり砂	暗黄灰						シルト混じり砂主体。5cm大の亜角礫点在。含水中位。細砂～粗砂主体の全体に不均質で盛土の様相。
4	39.76	4.05		玉石混じり砂	灰白黄灰						3.70mから35cm長の珪質な石灰岩礫の玉石。
	39.31	4.50									深度4.05～4.5mは3cm大の角礫が点在。マトリクスは砂質粘土からなり非常に締まっている。粗砂多い。含水中位。
5				泥岩	黒灰	B	III	c	β	2	境界部5cmは風化により細片状。全体に硬質な短柱状～柱状コアで採取。コア肌滑らかであるが亀裂密度は高い。岩種はミランジの様相を呈し、泥岩主体であるが珪質、砂岩薄層の互層からなる。層理は5～10度で明瞭で大小のレンズ状の小岩塊が見られる。亀裂面は分離しやすいが密着しているものが多い。面は平滑で褐色の細片を挟む。1mに3か所程度に亀裂が集中し、コアが角礫状となる。
6											
7											
8	35.81	8.00									
9											
10											

コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]

岩級区分	孔内水位(m)/測定月日	(N)値	(ルジオン 標準貫入)試験	原位置試験	室内試験
CL～CM	3/27 2.15 3/26 3.15	5 13 20 50/2 50/1 50/1 50/0 50/1	(P～QN値～深度)図 [ ]:ルジオン値 ( ):換算ルジオン値 《》:限界圧力 / N値		

掘進状況 掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径(mm)/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
3/25	300	86/ケーシング	SC/MB	0.1	70	0	無水/0	0
	150			0.1	70	0	無水/0	0
	150			0.1	70	0	無水/0	0
	80			0.2	70	0	無水/0	0
	25		WC・DB	0.1	120	0.1	清水/10	10
	46			0.1	120	0.1	清水/10	10
	75			0.1	120	0.1	清水/10	10
3/26	100			0.1	120	0.1	清水/10	4
	86	66		0.2	140	0.1	清水/7	3
3/27	50			0.3	140	0.2	清水/7	3